2015 年 2 月 2 日

独創的なデザインへの高い評価：電気自動車 BMW i3 が「2014-2015 日本カーデザイン大賞」を受賞。

BMW i3（アイ・スリー）が重要なデザイン賞を手にした。株式会社 三栄書房（代表取締役社長：鈴木 賢志）が発行する CAR STYLING 誌（編集長：松永 大演）主催の「日本カーデザイン大賞」において、量産車部門の年間最優秀賞である「ゴールデンマーカー賞」を受賞した。

日本カーデザイン大賞は、自動車ジャーナリストの山口京一氏を委員長とし、デザイナー、評論家、同誌編集長からなる 7 人による委員会が量産車、コンセプトカー、クレイモデルの 3 部門で表彰車を選定する。

2014 年 4 月に発売された BMW i3 は、ユニークなカーボン製ボディをベースに、「従来の BMW シリーズとはまったく異なるデザインテイストで構成されながら、キドニーグリルなど最低限のアイコンが効果的に BMW らしさを演出している。2 トーンカラー、奇異に大きなリヤ・サイド・ウインドウなど、これまでにない形にトライする姿勢が伺われる。臆することなく前進することで、あっという間に時代のトレンドセッターとなった感がある。」と評された。

なお、2014 年 12 月 26 日発売の「CAR STYLING」Vol. 3 において、各部門の受賞車が紹介されている。

BMW i3 について（数値は参考値）

- 最大出力 125kW/170ps、最大トルク 250Nm を発生する電気モーターおよび総電力量 22kWh のリチウムイオン電池を搭載し、7.2 秒の 0-100km/h 加速をゼロ・エミッション走行で実現。
- 一回の充電で、約 160km までの走行が可能。走行モードを ECO PRO（エコ・プロ）モードにする事により約 180km、ECO PRO+（プラス）にする事により約 200km まで航続距離を延ばす事が可能（実用走行を想定した BMW 社内基準）。
- レンジ・エクステンダー（発電用エンジン）搭載モデルにおいては、航続距離を約 300km まで延ばす事が可能。
- 日本仕様の BMW i3 は CHAdeMO（チャデモ）方式の急速充電に対応している。急速充電の利用により、約 30 分で 80%充電が可能となる。通常使用する自宅や勤務先での普通充電の場合は、約 8 時間で満充電となる。
- 車両寸法は日本の機械式駐車場の利用が可能となるよう、全幅 1,775mm、全高 1,550mm を実現。
- ユーロ NCAP 衝突試験において、乗員保護・小児保護で最高評価の 5 つ星を獲得。
- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、10 ベスト・カーおよびイノベーション部

門賞に選出。

CAR STYLING(カースタイリング)について

1973 年に創刊された CAR STYLING は、自動車デザインの歴史やトレンドをプロフェッショナルの視点も交え、国際的かつ詳細に紹介する専門誌である。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター:フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。
BMW インターネット・ウェブサイト:http://www.bmw.co.jp

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室:03-6259-8025(企業広報)